

平成30年度 生徒アンケート【集計】

	学年 質問	1年生				2年生				3年生				全学年				1年生 平均値	2年生 平均値	3年生 平均値	全体 平均値
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
1	授業には集中して取り組み、 学習内容を理解しようと努力している。	29	53	6	2	28	51	13	2	25	40	10	4	82	144	29	8	3.21	3.12	3.09	3.14
2	先生方の指導は素直に受け止めている。	40	41	9	0	41	44	8	1	34	35	5	5	115	120	22	6	3.34	3.33	3.24	3.31
3	課題にはしっかり取り組み、 計画的な家庭学習をしている。	18	38	28	6	9	35	43	7	18	28	22	11	45	101	93	24	2.76	2.49	2.67	2.63
4	図書館を利用したり、読書に親しんでいる。	16	13	20	41	13	10	30	41	14	14	26	25	43	37	76	107	2.04	1.95	2.22	2.06
5	遅刻・欠席・早退をしないように心がけ、 周囲に迷惑をかけるような言動はしていない。	51	32	7	0	58	31	5	0	52	16	8	3	161	79	20	3	3.49	3.56	3.48	3.51
6	校則（頭髪・制服等）や交通規則の意味を理解して、 きちんと守っている。	45	37	7	1	56	32	6	0	55	16	6	2	156	85	19	3	3.40	3.53	3.57	3.50
7	自分から進んで挨拶をするよう心がけ、 周りにより印象を与える身なりに気をつけている。	38	43	9	0	47	40	6	1	42	27	8	2	127	110	23	3	3.32	3.41	3.38	3.37
8	困ったり悩んだりしたとき、相談できる相手がいる。	36	39	12	3	32	44	14	3	35	26	11	7	103	109	37	13	3.20	3.13	3.13	3.15
9	進路について真剣に考え、 目標を持って学校生活を送っている。	20	46	23	1	28	48	16	2	38	31	7	3	86	125	46	6	2.94	3.09	3.32	3.11
10	進路講話や職場体験学習を通して、 働くことの意義をよく考えている。	21	42	25	2	35	38	18	3	34	34	7	4	90	114	50	9	2.91	3.12	3.24	3.08
11	進路資料室を利用したり、進路について相談することが ある。	7	17	36	30	6	26	36	26	17	24	29	9	30	67	101	65	2.01	2.13	2.62	2.24
12	自分の健康状態を知り、 治療など早めにおこなうよう心がけている。	27	44	16	3	35	41	17	1	34	34	9	2	96	119	42	6	3.06	3.17	3.27	3.16
13	体力の維持・向上のために、 部活動や体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	46	32	11	1	45	37	9	2	38	33	7	1	129	102	27	4	3.37	3.34	3.37	3.36
14	怪我等をしないように安全に注意して、 学校生活を送っている。	39	45	5	1	52	36	6	0	43	30	5	1	134	111	16	2	3.36	3.49	3.46	3.43
15	工業科目の授業で学んだ内容が、将来の職業にどのよう に結びつくか、イメージすることができる。	22	45	23	0	22	57	12	3	24	27	18	10	68	129	53	13	2.99	3.04	2.82	2.96
16	実習等を通じて、ものづくりへの興味関心が高まっている。	30	46	13	1	31	41	18	4	25	34	14	6	86	121	45	11	3.17	3.05	2.99	3.07
17	検定・資格取得に積極的に取り組んでいる。	30	30	30	0	31	26	27	10	19	23	25	12	80	79	82	22	3.00	2.83	2.62	2.83
18	学校の特色を生かした教育活動として、地域行事や学習 成果発表のための行事に積極的に参加している。	15	47	22	6	18	34	29	10	21	31	21	6	54	112	72	22	2.79	2.66	2.85	2.76
19	人権について真剣にとらえ、いじめや差別など絶対に許 されないことだと理解している。	50	33	6	1	58	32	4	0	46	28	4	1	154	93	14	2	3.47	3.57	3.51	3.52
20	学校からの配布物を家庭へしっかり届けている。	34	37	15	4	35	48	10	1	26	35	12	6	95	120	37	11	3.12	3.24	3.03	3.14

平成30年度 生徒アンケート【年度比較】

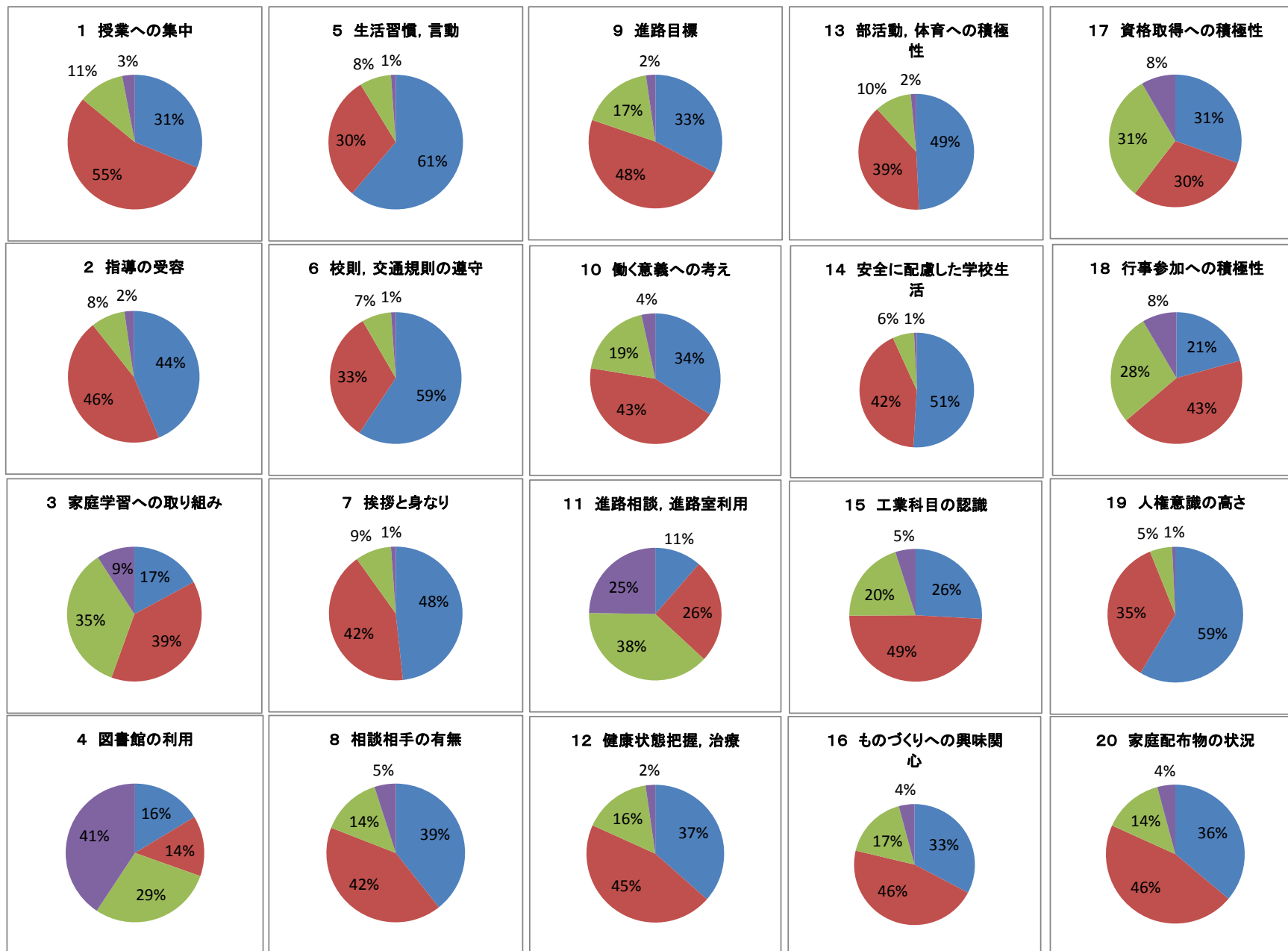
質問	入学年度	平成28年度			平成29年度		平成30年度
	学年	1年次 (H28)	2年次 (H29)	3年次 (H30)	1年次 (H29)	2年次 (H30)	1年次 (H30)
1	授業には集中して取り組み、学習内容を理解しようと努力している。	3.23	3.06	3.09	3.06	3.12	3.21
2	先生方の指導は素直に受け止めている。	3.38	3.06	3.24	3.23	3.33	3.34
3	課題にはしっかり取り組み、計画的な家庭学習をしている。	2.74	2.46	2.67	2.54	2.49	2.76
4	図書館を利用したり、読書に親しんでいる。	2.15	2.06	2.22	1.85	1.95	2.04
5	遅刻・欠席・早退をしないように心がけ、周囲に迷惑をかけるような言動はしていない。	3.49	3.42	3.48	3.42	3.56	3.49
6	校則（頭髪・制服等）や交通規則の意味を理解して、きちんと守っている。	3.43	3.47	3.57	3.27	3.53	3.40
7	自分から進んで挨拶をするよう心がけ、周りにより印象を与える身なりに気をつけている。	3.44	3.33	3.38	3.23	3.41	3.32
8	困ったり悩んだりしたとき、相談できる相手がいる。	3.24	2.96	3.13	3.20	3.13	3.20
9	進路について真剣に考え、目標を持って学校生活を送っている。	2.89	3.18	3.32	3.02	3.09	2.94
10	進路講話や職場体験学習を通して、働くことの意義をよく考えている。	2.87	3.00	3.24	2.85	3.12	2.91
11	進路資料室を利用したり、進路について相談することがある。	1.80	2.32	2.62	1.81	2.13	2.01
12	自分の健康状態を知り、治療など早めにおこなうよう心がけている。	3.20	3.24	3.27	3.04	3.17	3.06
13	体力の維持・向上のために、部活動や体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	3.32	3.24	3.37	3.22	3.34	3.37
14	怪我等をしないように安全に注意して、学校生活を送っている。	3.41	3.36	3.46	3.31	3.49	3.36
15	工業科目の授業で学んだ内容が、将来の職業にどのように結びつくか、イメージすることができる。	2.94	2.81	2.82	2.98	3.04	2.99
16	実習等を通じて、ものづくりへの興味関心が高まっている。	3.07	2.95	2.99	2.98	3.05	3.17
17	検定・資格取得に積極的に取り組んでいる。	2.87	2.81	2.62	3.00	2.83	3.00
18	学校の特色を生かした教育活動として、地域行事や学習成果発表のための行事に積極的に参加している。	2.67	2.70	2.85	2.69	2.66	2.79
19	人権について真剣にとらえ、いじめや差別など絶対に許されないことだと理解している。	3.68	3.56	3.51	3.49	3.57	3.47
20	学校からの配布物を家庭へしっかり届けている。	3.13	3.09	3.03	3.18	3.24	3.12

凡例



4 : よくあてはまる  
2 : あまりあてはまらない

3 : ややあてはまる  
1 : まったくあてはまらない



(参考資料)

平成30年度 生徒アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
1	授業には集中して取り組み、 学習内容を理解しようと努力している。	教務	教務	全体の評価で「あてはまる」という割合は、H28(90%)、H29(83%)、今年度(86%)と推移している。1年次(入学年度)の評価の平均値がH27で(3.43)、H28(3.23)、H29(3.06)と低下してきたが、今年度(3.21)と上昇に転じた。学習力調査での学習への取り組みが向上傾向にあることと合致した結果である。しかし、基礎学力診断テストでのGTZ「D3」の1年次の割合はH27(30%)、H28(40%)、H29(50%)、今年度(59%)と低下しているので、入学後の努力度を高める方策を重ねていく必要がある。成績下位層への対応に伴い、上位層の興味をそぐことにならないよう授業形態の工夫など授業に集中させる取り組みが必要である。
2	先生方の指導は素直に受け止めている。			90%の生徒が「あてはまる」と回答している。「あてはまらない」と回答している各学年10名程度の生徒に対して、どのように指導し、改善させていくかが教育力を問われるものである。2、3年生ともに昨年度より評価の平均値が向上しており、生徒指導に係る項目の平均値を見ても同じような傾向にあることから、全体的には教育活動の一定の成果が見られる結果となっている。しかし、現実的には一部の授業態度のよくない生徒や指導に対して素直でない生徒などの指導事例が増加しているので、「素直さ」の基準そのものが低下しているとも考えられ、生徒の特性を理解した様々な指導を展開していく必要がある。
3	課題にはしっかり取り組み、 計画的な家庭学習をしている。			44%(H28:35%、H29:41%)の生徒が「あてはまらない」と回答しており、学習力調査における結果と同様、多くの生徒が自宅学習をしていない実態を表している。定期考査前や資格試験対策以外の自発的な学習はほとんどしないという生徒の現状は明確である。2年次で低下し、3年生になると改善される傾向であるので、授業を中心として、出工タイムの取り組みの効果や進路目標の具体化などのよい影響はあると思われる。進路目標の設定を早め、その実現に向けた長期・定期的な学習計画作成等の指導と併せて、家庭での保護者の積極的な声かけも必要であると思われる。
4	図書館を利用したり、読書に親しんでいる。		図書・ 研修	7割もの生徒が「あてはまらない」「まったくあてはまらない」と答えている。図書館利用をする生徒は決まっており、授業等でないと自発的に訪れることのない生徒や、卒業するまでに一冊も図書館で本を借りない生徒も存在する。特に、2年生の1.95という低い平均値が気になる。この学年は1年次でも値が低かった。係や委員会も一斉読書の実施や読み聞かせなど、工夫はしているが、なかなか効果が現れていないといえよう。
5	遅刻・欠席・早退をしないように心がけ、 周囲に迷惑をかけるような言動はしていない。	生徒指導	生活指導・ 交通指導	3つの学年を比較したとき、3年生の規範意識が低い。恐らく進路決定したことで気が緩み、残りの高校生活での目的や目標の欠如によるものと推測される。また3学年とも共通していることが、「あてはまらない」という回答について若干名おり、その生徒を中心として授業が成り立たないというケースが考えられる。一方、学校の状況と比較すると、教師側から見ると授業態度が良くないと思うが、生徒から見るとちゃんとやっているという認識の違いもあるのではと推測できる。
6	校則(頭髪・制服等)や交通規則の意味を理解して、 きちんと守っている。			守ろうという意識の低い生徒が各学年10名弱いる。上記、下記にも共通するが、このように考える生徒が固定化しており、毎回同じ生徒が頭髪服装指導の再指導・再々指導に上がっているものと思われる。毎日顔を合わせる担任団で規範意識を高めるための声掛け指導の徹底が大切なのでは？駄目なものは駄目だと指導できる強い信念が教員側に求められる。

(参考資料)

## 平成30年度 生徒アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
7	自分から進んで挨拶をするよう心がけ、周りによい印象を与える身なりに気をつけている。	生徒指導	生活 導 交 通 指	やはり3年生が多い。気の緩みだと思われる。また各学年若干名ずついることから、自己中心的な思考で社会人基礎力が身についていない生徒がいるものと思える。上記とも共通することだが、ほとんどの生徒はしっかりできているので、できる生徒はしっかりと伸ばし、できない生徒へは保護者からも協力をもらいながら指導する必要がある。
8	困ったり悩んだりしたとき、相談できる相手がいる。		教育 相 談	保護者の8割が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しているが、「まったくあてはまらない」という回答が3%、「あまりあてはまらない」という回答が13%あった。この質問については「あてはまらない」と答える家庭が少しでもあれば、相談体制の見直しを行い、生徒・家庭にとって相談しやすい環境をつくる必要があると考える。加えて、ひき続き、S C来校日の周知や家庭との密な連携に努めたい。
9	進路について真剣に考え、目標を持って学校生活を送っている。		進路 情 報 指 導	進路 情 報
10	進路講話や職場体験学習を通して、働くことの意義をよく考えている。	進路 指 導		「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年度比3ポイント減の78%となった。学年毎の進路ガイダンスや全学年対象の地元企業魅力説明会を行ってきたが評価が低下した。生徒の実態に応じたガイダンス内容の検討や事前・事後指導の在り方を見直すことが必要である。
11	進路資料室を利用したり、進路について相談することがある。	進路 相 談		「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年度比8ポイント減の38%と低い状況となった。特に1年生の肯定的評価に関しては前年同学年よりも7ポイント改善し27%となったが、全学年の中で最も低い状況となった。なお、進路を控えた3年生の肯定的評価は全学年の中で最も高い状況だったが、前年度に比べると17ポイント減少した。近年の就職環境の飛躍的な向上に伴う生徒の危機感や進路意識の低下が原因であると考えられる。1年生から積極的に進路資料室を活用できるようなシステムづくりが必要不可欠である。
12	自分の健康状態を知り、治療など早めにおこなうよう心がけている。	保健	保 健	年度比較をみると、2・3年生ともに入学年次より評点が少しずつ高くなり、意識の向上がみられる。1年生は例年並みに評点は低く、全体としても「あてはまらない」「まったくあてはまらない」と答えた生徒の割合は若干増えている。夏休み前にも受診を勧める連絡をしたが、今後さらに家庭との協力体制を重視することが必要である。
13	体力の維持・向上のために、部活動や体育の授業等に積極的に取り組んでいる。		体 育 指 導	88%の生徒が、体力の維持・向上のための取り組みに対し、肯定的にとらえている。昨年も86%が肯定的にとらえており、運動に対して多くの生徒が積極的であることがわかる。また、「まったくあてはまらない」という生徒は、昨年の10人から4人に減少している。体を動かすことの苦手な生徒も、運動に親しむことができるよう、授業や部活動、学校行事のさらなる工夫が必要である。
14	怪我等をしないように安全に注意して、学校生活を送っている。		安 全 指 導	93%と多くの生徒が肯定的な評点である。昨年度の92%からも1%増加し、例年高い水準にある。「まったくあてはまらない」という生徒は2人であり、昨年度の6人からもさらに減少した。怪我等がないようにという意識は高いと考えられるが、潜んでいる危険に気づいていないという可能性もある。実習等の授業など学校生活のさまざまな場面で、継続的な指導が必要である。

## (参考資料)

## 平成30年度 生徒アンケート【分析結果】

	質問	部・科	係	分析結果
15	工業科目の授業で学んだ内容が、将来の職業にどのように結びつくか、イメージすることができる。	各学科	建築	授業に対する取り組み方など、初めは理解できなかったが学んでいくうちに、授業の大切さや今後、進路決定をしていくうえで非常に大切なことに気づいているのではないかと。
			機械電気	将来をイメージすることができるかの平均は1・2・3年生・全体平均値より、わずかであるが質問全体の平均値よりも低い。また、全体の平均値の最も小さい値よりは高い数値である。これより漠然としたイメージは持てるがさらに具体的なイメージが持てる授業に取り組めるように研鑽することが大切であると思われる。
16	実習等を通じて、ものづくりへの興味関心が高まっている。	各学科	建築	実習の大切さ、ものづくりへの取り組み方が良いが、ものづくりの難しさなどを実感しつつ、自分に合ったものづくりを模索していているのではないかと。
			機械電気	ものづくりへの関心の平均値は、1・2・3年生・全体平均値とほぼ近い値である。全体の高い平均値より、ほぼ0.5低い値である。さらに、ものづくりへの興味関心が高まるように実習内容を充実することであると思う。
17	検定・資格取得に積極的に取り組んでいる。	教務	学習検定	学年が上がるにつれ、評価平均値が低下しており(1年:3.00, 2年:2.83, 3年:2.62)、過年度比較も同じような傾向がみられる(H28入学生1年次:2.87, 2年時:2.81, 3年時:2.62)。入学時は資格を取得したいと意気込んでくるが、実際に資格試験の勉強を始めると、難しさにふれ、諦めてしまう生徒がいるのではないかと考えられる。諦めずに受験し、結果が出ずに悔しい思いをしたからもう一度チャレンジをするといった粘り強さを身に付けさせる指導を考えたい。
18	学校の特色を生かした教育活動として、地域行事や学習成果発表のための行事に積極的に参加している。		教務	学年間の有意差、年次進行での向上等が見られないので、行事に限らず、様々なことに取り組む姿勢が積極的な生徒とそうでない生徒の2極化が進んでいることが懸念される。40%弱の意欲的でない生徒に対して、学校行事等への積極的な参加を促し、成功体験を積み重ねることで改善に繋げていきたいと考える。
19	人権について真剣にとらえ、いじめや差別など絶対に許されないことだと理解している。		人権教育同和	学年に依らず、評価平均値は高い値を示しており、義務教育からの人権同和教育、道徳教育が効果的に働いていることが窺える。本校で行っている現在の様々な取り組みを継続しながら、「いじめ」や「いじり」のない生徒全員にとって楽しい学校を目指していく必要がある。
20	学校からの配布物を家庭へしっかり届けている。			82%の生徒が「あてはまる」と回答している。問題となるのは50名程度の「あてはまらない」と回答した生徒で、学校の様子や取り組みなどが保護者へ伝わらず、保護者の理解、協力が得られないことも十分懸念され、学習や生活で様々な問題を抱えている生徒に多い。スマホの普及、ICTの高度化を考え、学校HPや学校ブログなどを用いて、生徒を介さない情報発信も充実させていく必要があると思われる。